



報道関係者 各位

経済学部附属史料館企画展ご案内**—歴史の眼で見る地域と病い—**

コロナ禍にあって私たちは日々、病いと向き合うことになっています。流行病と向き合うのは何も私たちだけではなく、過去を生きた人々も同様でした。江戸時代そして明治期を生きた人々も麻疹やコレラといった流行病と対峙しました。そのとき、人々はどうしたのか。史料館が収蔵する地域の史料を中心に展示をつくりました。

近江商人が残した日記や書状を含む種々の史料は、感染拡大の状況や病いへの恐れだけでなく、その対処の具体相をも示します。人々は神仏への祈りと共に病い除けの絵にも頼り、明治に入ってから科学的方法による対処も行いました。

それだけでなく、病いの治療には江戸時代から薬が用いられていました。「売薬」と呼ばれた調合薬の製造・販売が盛んであった近江では、赤玉神教丸、萬病感應丸など今日まで続く薬が生み出されました。こうした「売薬」は、人々が病いと対峙するためのひとつの方法であり、流行病に効果がある可能性が示されることもありました。

コロナ禍の今、地域と流行病との関係に目を向ける機会となることを願います。

【 報道関係者向け展示説明会 】

日 時：10月11日（月）13：30～14：30

説明者：滋賀大学経済学部 青柳周一 教授

場 所：附属史料館 1階 展示室（彦根市馬場1丁目1-1）

【 経済学部附属史料館企画展「近江から見る流行病と近江の薬」 】

会 期：10月11日（月）～11月12日（金）

休館日：土・日・祝休館（ただし10月23日（土）は開館）

時 間：9：30～16：30

場 所：同上

その他：観覧は予約優先制。詳細は当館ホームページをご覧ください。



史料館 HP は

こちら

【 企画展関連講演会「幕末・維新期のコレラ流行と地域社会」 】

日 時：11月6日（土）13：00～

講演者：東北芸術工科大学歴史遺産学科 竹原万雄 准教授

方 法：YouTubeからのオンラインライブ配信。

視聴方法は当館ホームページをご覧ください。

近江から見る流行病と

はやりやまい

近江の歴史

近江の薬

近江の薬

観覧
無料

10月11日[月]-11月12日[金]

開館時間 | 9:30-16:30

休館日 | 土日祝休日

(ただし10月23日(土)は開館します。)

場 所 | 滋賀大学経済学部附属史料館1階展示室

予約優先制

詳細はHPをご覧ください。

関連講演会

11月6日[土] 13:00 - 詳細はHPをご覧ください。

「幕末・維新期のコレラ流行と地域社会」(オンラインで実施)

■ 講師 | 竹原万雄(東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科准教授)

■ 後援 | (公財)陵水学術後援会

Archival Museum, Faculty of Economics, Shiga University

滋賀大学経済学部附属史料館

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1-1

Tel / Fax 0749-27-1046 <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/shiryo/>

■ JR彦根駅より | 滋賀大学直行バスで10分、タクシーで5分、徒歩で25分

■ JR米原駅より | タクシーで15分



▲史料館HPはこちら



▲場所はこちら

